

令和 2 年度 第 2 回北区自治協議会  
 北区区ビジョンまちづくり計画 第 3 次実施計画進捗状況(令和元年度分)  
 書面協議結果

(順不同)

本間(久)委員	
要旨	<p>○39 国家戦略特区推進事業について</p> <p>新潟市が「大規模農業改革拠点」(農業特区)になってから何年経つのでしょうか。全然推進されていないような気がします。別事業から農業を始める人たちの支援が必要ではないでしょうか。</p> <p>農家の後継者不足はなかなか解消されていないようですし、休耕地が多いような気がします。新潟は農業に向かないのでしょうか。</p> <p>農業に対する見方を変えるような仕組みが考えてほしい。農協や農業委員会が、そのあたりの弊害になっていないことを祈るばかりです。</p>
回答 / 見 解	<p>平成 26 年 12 月 19 日付けで新潟市は、「新潟市 革新的農業実践特区」に認定され、いくつかの規制緩和がなされました。</p> <p>北区における主な取組としては、「農家レストラン設置に係る特例」を活用し、有限会社高儀農場にて農家レストランが建設される等があげられます。しかし、大多数の農家では農業特区の規制緩和の恩恵を受けているとは言えない状況です。</p> <p>近年、農業の担い手不足や高齢化等によって、地域の農地を将来に渡って地域の農家が担っていくことが危惧されています。</p> <p>そのため、平成 26 年度から集落内での話し合いを進め、地域の農地を地域の担い手に集積・集約する「農地中間管理事業」を進めており、これまで北区内の 6 地区で取り組まれました。また、この話し合いの中で北区では 2 例目となる米を経営の主とする農事組合法人も設立されました。</p> <p>本年度は、この取組を更に進め、地域の農家の皆様と話し合い、地域農業の将来計画である「人・農地プラン」の策定及び、その計画の実現に向けて支援してまいります。</p> <p>現在、新型コロナウイルス感染症の影響についてどのように話し合いを進めていくか検討中です。</p> <p>引き続き地域農業の維持・発展に向けて農家の皆様と一緒に取り組んでまいります。</p>

本間(久)委員	
要旨	<p>○66 地域「ひと・まち」パートナーシップ支援事業について</p> <p>数値目標が「派遣人数延べ800人以上」ということですが、この事業は派遣人数が目標ではなく、事業効果は、どのくらいの児童や生徒が大学生によるサポートを受けているかが問題であり、これについての詳しい報告を持って、目標と結果とすべきではないかと思えます。</p> <p>予算は派遣人数で行われていますが、その人数が達成されたかといって、派遣の効果は、別ではないでしょうか。</p>
回答/見解	<p>当該事業は、小・中学校への学習、スポーツ支援に加え、地域のイベントや祭り等への運営に参画しています。学習、スポーツ支援については、支援を受けた児童・生徒数を把握できますが、地域活動への参画については、支援を受けた人数を把握することが難しいため、大学生の派遣人数を指標としています。</p> <p>事業内容の効果については年1回「新潟医療福祉大学と北区との地域交流会」を開催し、区、大学、小中学校、地域で確認し、次年度をさらに効果的に取り組むことができるよう協議しています。</p>

菅原委員	
要旨	<p>○77 介護予防のための専門職派遣事業 について</p> <p>地域の茶の間の方々も、多く活用されていてとても良い事業と思えます。</p> <p>担当圏域内での開催は、地域の茶の間の活動状況の把握ができるので、支えあいのしくみづくり推進員にも情報提供をお願いします。</p> <p>可能であれば活動の結果や、派遣した専門職の報告等で、訪問した茶の間の印象や感想等が共有できると、今後の推進員の活動に参考になると考えます。</p>
回答/見解	<p>高齢者が、自ら介護予防に取り組んでいただけることを目的に、区づくり事業として3年目を迎えている事業です。昨年度・一昨年度と多くの方々からご参加をいただきました。</p> <p>今年度の実施についても、多くの茶の間やサロン等から申し込みいただき、一旦は、地域の方々とは日程・内容の調整を行いましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、初回の5月から7月まで中止しています。</p> <p>それ以降も、感染症の発生状況や、新たな生活様式をとりながらの実施となることから、専門職の派遣先である新潟リハビリテーション病院等と協議をしているところです。</p> <p>詳細がまとまり次第、皆さまにも周知する予定です。</p>

菅原委員	
要 旨	<p>○79 大学生による家庭介護セミナー</p> <p>在宅介護で大変な思いをしている方は多くいらっしゃるので、学生との交流はとても良いと思います。ただ、昨年は実際に介護をしている方や、介護に興味のある方へ情報が届きにくかったのではないのでしょうか。地域の茶の間の参加者や民生委員等への周知はされた様ですが、現在介護をしなくてはいけない状況がある方ではないと、あまり興味を持ってない様に感じました。ケアマネジャーや包括支援センター、また施設職員(生活相談員)等へ周知し、実際に在宅介護を必要としている方へ声をかけていただける様依頼をしておくとういと思います。周知を早めに行うことも大切です。</p>
回 答 / 見 解	<p>昨年度、自治協議会の提案事業として実施した際には、ご意見のとおり、実際に介護をしている方や、介護に興味のある方へ情報が届きにくい状況であったことは、否めない事実だと思います。</p> <p>今年度、区づくり事業として実施する際には、周知の時期や方法等に関して、いただいたご意見のとおり、民生委員や茶の間の参加者をはじめ、ケアマネジャーや包括支援センター・施設職員等へ周知し、必要な方々へのお声かけを行いたいと考えております。</p> <p>しかしながら、今年度の実施については、新型コロナウイルス感染症の影響により、今後の発生状況や、感染予防のための新たな生活様式を取り入れての実施となることから、新潟医療福祉大学と協議をしているところです。</p> <p>詳細がまとまり次第、皆さまにも周知する予定です。</p>

菅原委員	
要旨	<p>○87 生きがい対応型通所事業</p> <p>昨年度、阿賀浜荘で行われていたふれあいティールームが終了となりました。予算がつかなくなったことは仕方のない事と思いますが、参加者が週に1回出かけるところがなくなり、今後を心配しておりました。終了前に、地域の茶の間等への移行について参加者と相談を進めていましたが、新型コロナウイルスの影響により急な終了となり、参加者はとても残念に思っていると思います。</p> <p>阿賀浜荘で、以前とあまり変わらない状況で活動できることを参加者は望まれていました。阿賀浜荘の利用等含め今後相談する機会があればと考えています。その際には、施設の利用等に関して、相談させていただければと思っております。</p>
回答／見解	<p>この生きがい対応型通所事業は、地域での茶の間の開催や、利用者同士の自主的なサークル活動等の促進が図られてきていることから、市集中改革プランの見直し事業に挙げられています。</p> <p>老人憩いの家「阿賀浜荘」で実施されていた「ふれあいティールーム」においても、指定管理者の自主的な事業の実施や茶の間への移行をしながら、今まで通りの活動を変わずに実施していくということで、利用者の皆さまからは、ご理解をいただいているところです。</p> <p>しかしながら、今年度の実施は、新型コロナウイルス感染症の影響により、予防策として、会場である老人憩いの家を止む無く3月から閉館しました。</p> <p>今後の運営・実施については、支え合いのしくみづくり推進員はじめ、利用者の皆さまや施設管理者等を交えて、相談をさせていただく予定です。</p> <p>今後ともご支援・ご協力をお願いします。</p> <p><b>【参考】</b></p> <p>○事業目的：家に閉じこもりがちな1人暮らしの高齢者の生きがいづくり・社会参加を促進し、要介護状態に陥ることを予防するとともに、社会的孤立感の解消と仲間づくり・自立生活の助長を図るため、実施されています。</p> <p>○対象者：介護認定を受けていない概ね60歳以上の高齢者</p> <p>○実施個所：2か所（令和元年度まで）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ふれあいティールーム」（老人憩いの家「阿賀浜荘」）<b>※令和元年度末で廃止</b>  R1年登録者 20人  委託先：社会福祉協議会  実施内容：軽体操・民謡教室・ヨガ・手芸・レクリエーションなど</li> <li>・「コミュニティデイホーム」（早通健康福祉課会館内）  R1年登録者 153人  委託先：早通健康福祉会館運営委員会  実施内容：趣味活動・パッチワークなどの創作活動・舞踊・民謡教室・カラオケ等</li> </ul>

山賀委員	
要旨	○工程、数値目標の具体性が乏しい。特に数値が少ないように思われる。評価が難しく曖昧になる。事業費、施行(実施)数量等の記載を検討してほしい。
回答 / 見解	ご意見は、工程・数値目標を設定する際の参考とさせていただきます。また、特色ある区づくり予算で実施している事業については、例年議会での決算審査後の10月の自治協議会において、事業費などの数値を含めた詳細な実績を別途報告させていただいています。

山賀委員	
要旨	○28 工業振興事業について 実施が本課であっても工程・数値目標の内容を記述すべき。(同様事業数件あり)
回答 / 見解	当該事業は、工場を建設するための用地(面積が1,500㎡以上等)の取得費等への助成金であるため、実施計画での数値目標化は難しいと考えています。ご指摘を踏まえ、他の事業についても、より分かりやすい内容となるように工夫していきます。

山賀委員	
要旨	○50 北区文化会館事業について R2の年間利用人数目標が87,000人→65,000人と大幅に減となった理由について。
回答 / 見解	新型コロナウイルス感染症の影響を約3カ月と想定し、前年度目標の約75%と設定しました。

○意見・感想

- ・令和元年度事業については成果「C」があったが、自然災害のためによるもので100%計画通りに実施できたものと思います。
- ・北区区民のためのたくさんの事業に支えられて生活していることに感謝しています。事業数合計114のうち、計画を上回る実績があったのは2事業。さらに数が増えていくことに期待したいと思います。